



# アド・ネ ッ ト

☆青少年育成アドバイザー関連のホームページ☆ <http://www.shimane-youth.gr.jp/category/news/adviser>



## 今回のピックアップ

唱歌「ふるさと」発祥の地、鳥取県で、記念すべき第20回中四国ブロック青少年育成アドバイザー研究集会が8月30日から31日にかけての2日間、開催されました。

この研究集会の中での活動事例や研究討議が、中四国での今後の育成運動の大きな推進力となりました。交流会では、地元鳥取市の「しゃんしゃん踊り」が披露されました。（※表紙の写真）

鳥取大会では「いのちを育む」をメインテーマとし3つの分科会に分かれて、乳幼児が両親や家族、地域の人々との関わりによって社会人に成長していく姿を研究し、それに基づいてグループ協議をしました。講演では、乳幼児の子どもたちが持っている力を、自然の中で伸び伸びと育てている「森の幼稚園」の事例に学び、自ら伸びようとする子供たちの力を、私たちがどう引き出し、支援することができるかを考えることができ、有意義な研究集会となりました。

## 第20回中国・四国ブロック青少年育成アドバイザー研究集会鳥取大会に参加して

### ●第1分科会「知っていますか 子どもの本当の力」

参加者：森山 緑

内容は、子どもが生まれてきた時の喜びや感動、試練についてどんな話をしたことがありますか」「あなたがいてくれてうれしい」などの気持ちをどう伝えますか？という難題。

メンバーは大きな孫がいるような方々が多く「昔はこうだった」の話から「今と何が違うのか」など深い話になりました。要は、言葉ではいくらでも言えても、親子で川の字に寝たり、抱っこをしたり、なでてやったりと、スキンシップが一番大事であるという結論になりました。

全体では、智頭町の「森の幼稚園」の設立者である西村早栄子さんの話に皆さん驚きと感動でした。智頭町の山にほれ込み、移住してまでわが子を自然の中で育てたいという気持ち、又それを「幼稚園」で実現する実行力に天晴れでした。子どもは自然の中で色々な「生きていく術」を学びます。それが本当だということを証明されている、大変貴重な講演でした。

交流親睦会では、地元中学生による「傘踊り」、鳥取県アドバイザーのメンバーによる「能」が披露されました。中学生の皆さんは部活、試験の合間をぬって披露して下さり勇壮な舞に感動しました。驚きましたのは、鳥取県の平井知事がわざわざ来て下さり、巧みな話術と素敵な笑顔に感動しました。鳥取の活気が伝わってきました。2日間にわたる研修は、とても実のある研修でした。天候も良く白兔海岸もきれいに輝いていました。参加された皆様、お疲れ様でした。

### ●第2分科会「小・中学生と赤ちゃんとのふれあい会」

参加者：山崎 佳子

第二分科会に参加して、今の子ども達に欠けているといわれる、コミュニケーションの大切さを再認識しました。ファシリテーターの大場先生のすばらしい話術により、本当に楽しく、何よりもみんなが参加した実感がもてたことでした。

アイスブレイクのあと、3つのグループになりワークに入りました。そこでは誰もが自分のいろんな意見を述べあいました。

その中で、あいさつが出来る大人になろう、命を大切にしよう、人と関わる力、人を思いやる心の育ちあい等、意見もほぼまとまり、時間いっぱい楽しんだ第2分科会でした。

### ●第3分科会「地域活動 ありがとう運動」

参加者：神門 洋子

鳥取県三朝町での活動の紹介がありました。私は今回で2回目の参加になります。松江大会で、三朝町の参加者から「ありがとう100回運動」のシールをいただいてから、日々の生活でも意識して「ありがとう」を言っていました。今回は、ただ「ありがとう」を伝えるだけでなく、一言添えて伝える「・・・ありがとう」と「ありがとう」に多くのことばを付け加えることで、より感謝の気持ちが伝わるなど、これからのアドバイザーとしての活動また日々の生活において、更に心がけたいと思いました。

そして、私達アドバイザーの活動は「①粘り強く、こつこつ関わり続けること ②直ぐに結果を求めないで ③学ぶ本質は、楽しく習うこと」が必要であることを改めて認識することができました。閉会の挨拶の中で、今回の研究集会は「来るときには楽しみを、帰る時には喜びを」をキーワードにして取り組まれたそうです。今後のいろいろな企画をする上でとても参考になりました。今回、山陰の端から端への移動で、愛知県、北海道の方と移動時間は同じでしたが、とても新鮮な気持ちで「喜び」帰宅しました。皆さまも来年の愛媛大会へ是非参加をしてみてください。

## お知らせ

### ◎しまね教育の日フォーラム2014の開催について

「しまね教育の日」の取組として、島根県教育委員会、島根県、青少年育成島根県民会議では「しまね教育の日フォーラム2014」を開催します。中学生による発表、事例発表及びパネルディスカッションを行います。

○日時：平成26年11月4日（火）13：30～16：30

○会場：サンラポーむらくも（松江市殿町）※事前申込・参加料は不要です。

○問合せ先：島根県教育庁総務課（電話：0852-22-5406）

### ◎子どもゆめ基金助成金の募集説明会参加受付中

子どもゆめ基金は、子どもの体験活動や読書活動への助成を行っています。青少年教育に関する活動を行う民間団体であれば、法人格を有さないグループやサークルなども助成の対象となります。近年の採択率は約9割です。皆様の力で子どもたちの体験の機会を増やしませんか？

○日時：平成26年11月6日（木）13：30～16：00（13：00開場）

○会場：島根県立青少年の家（サン・レイク）第5研修室（出雲市小境町1991-2）

○申込み先：FAX0854-86-0458

メール [sanbe26suiushin@niye.go.jp](mailto:sanbe26suiushin@niye.go.jp)

※〆切は平成26年10月30日（木）です。

○問合せ先：独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立三瓶青少年交流の家 事業推進室

電話：0854-86-0319

### ◎しまねの子ども・若者支援を考えるみんなの集い

#### （平成26年度青少年育成関係者総合研修会（大田大会）の開催について

テーマ「子どもが心を開くとき」

将来を担う子どもたちが朗らかに育ち、構成員として社会を支える過程において、家庭はもちろんのこと大人たちの関わりが重要であることは言うまでもないことです。その際、子どもが大人に対して心を開いて自己開示をしてくれるか否かはとても重要なことで、反発することも含めて子どもが大人と精神的に関わり合うことによって、子どもの成長の道筋が見えてくるというものです。

この研修会では、そうした「子どもが心を開くとき」に、ふれ合い⇒語り聴き合い⇒葛藤し合い⇒開き合う、という子どもと大人との過程について事例を元にして考えていく機会を設けることとしました。

○日時：平成26年11月16日（日）12：30～16：30

○会場：ほっとスペースゆきみーる

○問合せ先：島根県青少年育成アドバイザー連絡協議会 事務局長 森山まで

電話：0854-64-0210（FAX兼用）

メール：hata-c@i-yume.ne.jp

○参加申込み：平成26年11月7日（金）※FAXまたはメールでお申込みください。

○その他：託児サービスを無料で行います。希望の方は10月31日までお申込みください。

